

おおた区議会だより

No.202
平成25年1月1日発行

第4回定例会号

主な掲載内容

- 第4回定例会を開催 1面
- 区政をきく（代表質問） 2～3面
- 区長挨拶 3面
- 区政をきく（一般質問） 4～5面
- 第4回定例会で決まった議案など 6面
- 第4回定例会の請願・陳情の結果 7面
- 平成25年定例会の予定 7面
- 委員会の構成 8面

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474（直通）

ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

大田区みどりの条例を制定

大田区議会は、平成24年第4回定例会を11月29日から12月10日までの12日間の会期で開きました。本会議第1日は、4名の議員が各会派を代表して質問し、第2日は10名の議員が一般質問を行い、大田区の産業振興や防災対策などの区政の課題について議論しました（詳細は、2～5面に掲載）。

この定例会で上程、審議した主な内容は、次のとおりです。

●補正予算及び条例の制定・改正など22件の区長提出議案が提出され原案どおり決定しました。
条例の制定では、大田区みどりの条例、大田区空き家の適正管理に関する条例及び大田区工場立地法地域準則条例の3条例について審議を行いました。
また、補正予算では、住宅リフォーム助成の増額などを盛り込んだ平成24年度一般会計補正予算（第4次）のほか、各特別会計補正予算について審議を行いました（審議の結果など詳細は、6面に掲載）。
●請願・陳情は、審議の結果、採択1件、不採択4件、そのほかは継続審査となりました（請願・陳情の結果は、7面に掲載）。

年頭のご挨拶



議長 高瀬 三徳
副議長 松本 洋之

年頭に当たり、区議会を代表してご挨拶申し上げます。
我が国に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から2年近くが経過しようとしております。被災地の復興はまだ道半ばであり、大田区からもこれまでに多くの方々が宮城県東松島市にボランティアとして駆け付けております。区議会といたしまして被災地の一日も早い復興に向け、今後も継続的な支援を行う所存でございます。
一方で、昨年はロンドンオリンピック・パラリンピックが開催され、日本代表選手団の活躍など日本を明るくする話題があり、中でも女子サッカーで銀

メダルを獲得した丸山桂里奈選手やポッチャ日本代表としてパラリンピックに出場した秋元妙美選手など大田区出身選手の活躍に、大田区全体が元氣と活力をいただきました。
昨年9月に地方自治法の改正が行われ、これまで以上に地方公共団体は自主・自立した運営が求められております。地方議会におきましても、権能拡大に伴い、地方自治を担う両輪の一つとしての責任は、ますます重いものと受け止めております。
区議会においては今期の目標に議会改革を掲げ、昨年度から鋭意取り組みを進めております。昨年は、区としての基本的な方向性を定める宣言の制定及び改廃などを、議員提出議案によって新たに議決事件として条例に追加し、当該条例に基づき「スポーツ健康都市宣言」を可決するなど、議決機関としての役割をより一層果たすべく努めてまいりました。
今後とも、区民の皆様の信任に全力で応え、複雑多様化する区政へのご要望に対し、多面的価値の体現という議会の特性を生かして、議決機関としての重責を担ってまいります。
本年が、明るい話題と希望の持てる1年となることを望みますと共に、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



【おおた花街道（大岡山駅前みんなの庭づくり）】大岡山駅前広場の花壇では、地域の方々が主体的に維持管理できるよう、ワークショップを開催し、コミュニティーガーデン作りを行っている。写真は、花壇の植え替えイベントに参加した区民の方々の様子。

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

区政をさく

代表質問

外部委託の目的と 成果とその検証について

自由民主党大田区民連合 伊藤 和弘



写真は、24年6月30日に開館した大田区総合体育館。大田区総合体育館は、指定管理者制度により運営されている。

【区】業務のアウトソーシング
高めるため、委託事業者の自由度を高めるなど、区の取り組みが必要と考えるが、区の考えを伺う。

【答】民間事業者の保有する豊富な人材やノウハウを積極的に区政に活用し、高度化、複雑化する行政課題により効果的、効率的に対応する体制作りを今後も推進する。
【問】アウトソーシングを導入する際に、導入することが適正な職種かどうかの検討を行っているのか。

【答】区民サービスの向上や効率的な運営が図られるよう、事前に業務の内容を十分に精査し、多角的な検討を実施した上で導入している。
【問】特に指定管理者制度を導入する際に、仕様書が細かいため、事業者の自主事業が自由にできていないように思う。区の見解は。
【答】仕様書や管理運営基準の内容について創意工夫し、より効果的、効率的な事業運営に取り組む。
【問】業務委託で派遣されている職員と区の職員が同じ仕事を行っている例があるが、同一の仕事であれば賃金も同一であるべき。雇用者の違いで待遇が異なるとよいのか。
【答】委託先従業員は労働条件は、雇用契約や労働関係法令にのっとり、事業者が適切に対応すべき。
【問】アウトソーシング導入後も常に検証し、結果に基づいて改善していかなければならない。どのように検証しているのか伺う。
【答】業務委託は区の規則に基づく検査を実施し、適正に履行されたことを確認している。指定管理者制度導入施設は毎年モニタリングを実施し評価はおおむね良好である。
【契約における入札制度と検査】
【問】指名競争入札を行う場合、事業を行う各所管で統一した発注方針による指名基準を持つことが必要と考える。指名競争入札における指名基準は適正か。
【答】契約内容及び契約金額に応じて電子調達サービスの共同格付けや官公庁実績などを踏まえ、6社から10社程度を指名している。
【問】継続の物品契約の場合、前年度の価格が公表されているということとは、予定価格を公表していることにならないのか。工事契約、物品契約それぞれ予定価格と最低制限価格の算出方法は適正なのか。
【答】工事契約は、区で定めた積算単価を用いて設計価格を算出し、予定価格を設定。最低制限価格は、24年度から全ての工事入札で中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデルを参考に区の現状に合わせて算定式で設定している。物品契約は、複数事業者の見積もりから過去の契約実績、物価動向、金利情勢などを総合的に勘案して予定価格を設定。最低制限価格は必要に応じて設定し、人件費割合が高い業務委託契約は、契約事務規則で定める上限85%を設定している。
【問】他区では、工事入札前に公表しているところもある。予定価格の公表の方法は、現状の工事は事後公表、物品は非公表でよいのか。
【答】23区中15区で工事入札の予定価格を事前公表しているが、大田区

では公正性、透明性を確保するため、事後公表を継続する。
【問】高い落札率は悪いことなのか。工事入札では、積算をしっかりと行えば、予定価格を算出することができると思う。積算が正しいので高落札率になっていると考えているが、区の見解を伺う。
【答】落札率は競争の結果であり、予定価格内で成立した入札は、全て適正なものと考えている。
【問】以前、一部のマスコミで報道されたように、区内業者を優先した参加条件が高値での落札につながっているのか。
【答】地域振興及び地域産業育成の観点から、一定の競争性を確保し、区内業者で調達可能な案件の入札は区内業者を優先した参加条件を設定している。区内業者だから落札率が高いとは考えていない。
【問】大田区総合体育館の内覧の際に多くの不備を指摘したが、区が適正な検査を行っていると考えている。契約における検査のあり方について、区の見解を伺う。
【答】検査関連の条例規則などに基づき統一された基準で厳正に検査しており、今後も他自治体や民間の事例などを研究しながら検討する。
【事業の検証のあり方】
【問】区は、事前の審査や調査をしっかり行うが、実施後の検証が民間に比べて不足している。事業の検証をどのように行っているのか。
【答】22年度に策定した、大田区における事務事業の検証・評価に関する基本方針に基づき実施している。
【問】本来、検証の方法は、事業を始める前に事業ごとに決めておかなければならない。実績報告ではなく、事業の目的が達成できたかどうかの結果検証を行うべきと考えられている。区の見解を伺う。
【答】区の事務事業は多種多様であり、事業実施に至った背景や目的、期待する効果など事業ごとに様々な特性を持っている。より効果的な事務事業の効果検証手法の導入に向けて、今後も調査、検討する。

くらし営業優先で 好循環・持続可能な区政へ

日本共産党大田区議団 大竹 辰治

【区民本位で持続可能な予算に】
【問】区は被災地支援に全力を挙げてきたが、被災地を支援するはずの復興予算が京急蒲田駅の駅前再開発に使われている。復興予算に使うように区に意見をあげるべき。
【答】補助金申請できる状況になっていない。コメントする立場にない。
【問】地方自治体の役割を發揮し区民の命、暮らしを守る防波堤として、区民の痛みを和らげる施策と削減された事業の復活を求め、特に、いきいき高齢者入浴事業を23年度の規模に事業を戻し、寿祝金・百歳以上長寿者祝金事業も縮小される前の規模に事業を戻すべき。
【答】いきいき高齢者入浴事業は、継続的に利用できるようにするため月々の利用回数を設けた。寿祝金・百歳以上長寿者祝金事業は引き続き、88歳、100歳、108歳及び最高齢の方に贈呈する。
【問】区営住宅は、入居基準の緩和は行っているが新築計画がない。建設計画を早急に策定し、住宅困窮世帯を解消すべき。また、都営住宅の大量建設を要求すべき。
【答】区内の民間賃貸住宅が供給過剰の状況であり、区営住宅の建設計画の策定や都営住宅の建設を要求する予定はない。
【問】国民健康保険料の経過措置の延長や区独自の施策で値上げをしないことを求める。
【答】医療保険者との負担公平の観点から慎重に検討すべきと考える。
【問】ものづくり経営革新緊急助成制度を実施し、区内ものづくり・製造業者の経営・営業を支援すべき。
【答】申請する企業が減ったことから、事業目的は達成したと判断し、事業終了した。23年度から新製品・新技術開発の支援を展開している。
【問】区内中小・零細業者のために年末特別融資を創設し、年末融資の

特別体制をとることを求める。
【答】中小企業金融円滑化法が25年3月末に終了するため、緊急金融特別相談窓口を11月から開設している。併せて、中小企業融資のうち特に低利となる経営強化資金について、11月から3月まで時限的にあつせん要件を緩和している。
【大田区経営改革推進プラン】
【問】削減先にあきで費用対効果の経済効果だけを優先に評価し区政の透明性や区民参画推進に逆行する事務事業外部評価を中止すべき。
【答】単に経済効果だけでなく、事業や施策の効果を最大限高めることを大きな目的としている。
【問】本来、一般的な行政サービスに受益者負担を持ち込むことは問題であり、撤回を求める。
【答】負担の公平性を図る観点や利用者負担の減免なども配慮しながら公費負担と受益者負担の適正なあり方を整理する。
【区内中小企業に仕事づくりを】
【問】区内中小企業への直接支援も含めて産業経済費を抜本的に増額し、予算構成比で5%を目指すべき。
【答】企業にとって真に必要な支援を検討し、充実した産業支援策を提案するよう努力する。
【問】公契約条例で雇用と賃金を確保し、労働者と業者を守るべき。
【答】民間企業の雇用や賃金などの個別の労働条件は、自治体の条例で対応するものではないと考える。他区の動向は今後も注視する。
【問】自然再生可能エネルギーの技術開発や実用化で部品加工からプラットフォーム製品として位置付け、必要なプロジェクトを立ち上げるなど、ものづくり技術を生かした助成を行い、実用化までの援助を求める。
【答】区内企業が様々な分野で開発を促進できるよう、新製品・新技術開発支援事業の中で支援する。



写真は、23年度の事務事業外部評価の公開審査で審査する外部評価委員。24年度は、12事業（14項目）について外部評価を実施した。

【「尊厳ある生活を営むための介護保険」】
【問】利用料金の軽減制度について、現在ある制度を活用するため、区民への周知徹底と事業者負担がないように改善を求める。また、低所得者への減免制度を区独自で拡大することを求める。
【答】今後も、分りやすい周知に努める。事業に参入している事業者を区が助成し、事業者の負担軽減と新規参入の促進を図っている。
【問】待機者に見合う基盤整備計画を策定し、自宅で介護が困難になつた方々が安心して生きていける特別養護老人ホームの建設を区が責任を持って進めるために必要な手立てを早急に示すべき。
【答】特別養護老人ホームは、24年3月と5月に2施設、144床を整備した。今後も在宅サービスの施策の充実を図ると共に、入所が必要な高齢者のため、引き続き特別養護老人ホームの整備に努める。

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

大田区に住む全ての人々に、暮らしやすい生活を

大田区議会公明党 清波 貞子

「羽田空港の跡地利用について」

【問】特区をめぐる国との協議、産業交流施設についての都との協議など、区が一枚岩となり、区長の強力なリーダーシップの下で対応することが重要だ。区長の思いを伺う。

【答】特区の活用や産業交流施設の機能などについて、国や都と協議を進めており、必要な指示を行いながら進めている。また、区の関係部が相互に情報共有を図りながら取り組んでいる。羽田空港跡地まわりの推進計画、アジアヘッドクォーター特区区域計画の中で、土地利用の方向性や産業交流施設の位置付けが確認されている。国や都と積み上げてきた考え方に基づき、区の活性化はもちろん、首都圏、そして日本の再生につながる跡地利用の実現に取り組む。

【問】産業交流施設の国際会議場や展示場の機能について区長の構想は。

【答】羽田空港の機能拡充を活用し、世界を視野に入れた産業連携の拠点としたい。

【問】防災について

【問】防災時、多様な伝達手段を準備することは大事だが、区の見解を伺う。

【問】防災無線や広報車のほかにホームページや区民安全・安心メールサービス、ツイッターがある。国が進める防災情報の自動配信システムは、配信エリア内の携帯電話に地震・災害情報を提供するもので、情報提供手段として大変有効だと考える。

【問】災害時に患者情報や医薬品情報は、迅速な災害医療のために区や病院間でどのように情報の伝達や共有がされていくか。医療情報の伝達、配信はどのような計画があるか。

【答】医療情報を電子化、共有することとは、医療機関の連携を円滑にし、被災による医療情報の喪失を防ぐためにも有意義なこと。国や関係機関の研究・検討状況や、関連技術の進捗・普及状況など、今後の動向を注視したい。



写真は、訓練に参加する中学生（区立大森第六中学校）。学校を防災活動拠点として活用する初めての防災訓練を行った。

【問】防災会議に女性の代表を入れてほしいと提案してきた。現在のどのような団体の方が何名決定しているのか。

【答】5名の女性委員を選任した。具体的には、NPO法人男女共同参画おおた、大田区男女平等推進区民会議、大田助産師会、大田区自立支援協議会、大田区婦人団体連合会、以上5団体から1名ずつ、子育て支援について、

【問】大田区版子ども子育て会議の設置を要望する。区の見解は。

【答】子ども子育て支援事業計画の策定などに当たり子育て当事者などの意見を反映させ、地域の子ども及び子育て家庭の実情を踏まえる必要がある。子ども子育て会議を設置する方向で検討している。

【問】短時間勤務者が利用しやすい保育サービスが不足している。待機児解消に向け、定期利用保育を保育園で実施し、更に充実させるべきと考えるがいかがか。

【答】既存保育資源の有効活用などの視点から、検討を進めている。今後とも地域の保育ニーズを見極め、保育サービス基盤の拡充に努める。発達障がいのお子さんに対する早期支援を更に進める必要がある。ことも発達センターわかばの家で実施している療育・訓練拡充のため、分館を拡大する計画はないか。

【問】増加するニーズの動向を踏まえ、保有する施設活用も視野に入れ支援充実の検討を深めていきたい。

【問】絵本の読み聞かせをするきっかけになった方87.3%であった。いただいた意見の中には「上の子は、いただいた本を小学生になっても、手放さず大切にしている」などあり、こうしたことから、事業は一定の成果があると評価している。

【問】軽度外傷性脳損傷について

【問】この病気を区民に周知し認知してもらうため、学校関係者、障がい福祉に関わる関係者、区民への講演会を開催してはいかがでしょうか。

【答】今後、理解啓発を進めるために「友の会」の方々など当事者のご意見を伺い、分かりやすい周知方法や講演会開催などについて検討していく。

【問】高齢者介護ボランティア制度

【問】高齢者介護ボランティア制度

【問】高齢者介護ボランティア制度

【問】高齢者介護ボランティア制度

【問】高齢者介護ボランティア制度

【問】高齢者介護ボランティア制度

【問】高齢者介護ボランティア制度

地域の力が輝き、区民の想いに寄り添う区政を

大田区議会民主党 森 愛

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

【問】アジヤものづくりハブ・産業技術開発拠点を掲げる産業振興を

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

区政をさく

一般質問

大田区議会公明党

大橋 武司

「内川の橋りょうについて」

問 地震に備え、調査・耐震補強・架け替え工事など、少しでも早く進めていただきたいかがか。

答 計画的に橋りょうの調査・耐震補強・架け替え工事を進め、災害に強いまちづくりを推進していく。橋はまず強度。そして子どもから高齢者の方まで安全で、車椅子やベビーカーなどスムーズに渡れるバリアフリー、そしてデザインは景観を考慮し、地域の方に愛される橋の設計を求めているかがか。

答 段差をなくすことを基本的に考えている。周辺の景観と調和し地域の方に愛されるデザインになるよう努めたい。

問 護岸整備は、地域要望を踏まえ、都と積極的に連携を図り、進めていただきたいかがか。

答 未整備の護岸は、地域の要望を踏まえ都と区が連携し、自然に配慮した環境護岸の整備を進めたい。

問 安全で、バリアフリー、明るく景観も良い散策路のデザインの設計をお願いしたいかがか。

答 誰もが安全で、快適に利用できるような整備したい。

問 小学校だけでなく中学校や幼稚園・保育園・支援学校などの通学・通園路も、危険箇所がないか声を聴き、ぜひ子どもたちの目線での点検をお願いしたい。

答 幼稚園、保育園などからの要望に応え点検を実施し、安全対策を推進していきたい。

問 道幅の狭い生活道路が集中する区域内の歩行者の安全を確保する交通施策「ゾーン30」を取り入れたいかがか。対象となる区域があれば、地域の声をよく聴いた上で警察と積極的に協議していただきたい。

答 23年9月、警察庁から「ゾーン30」の推進の通達を受けた。必要な箇所には地域の方と協力し、警察と十分協議し検討したい。

問 介護ベッドの事故防止について。介護ベッドの事故が後を絶たない。区報に分かりやすく介護ベッドの注意喚起・事故防止対策の方法を掲載することを要望する。

答 区は、消費者生活センター発行の「パレット12・1月号」及びホームページにより再発防止に向けた注意喚起を図る。更に、25年3月1日号の区報で、図などを用いてできるだけ分かりやすく注意喚起をする。再発防止に向け、利用者への周知に努める。

問 区内合計で1,052件の対応件数を把握している。

問 23年度決算における、区道などへの不法投棄物処理費用は。

答 道路維持費で、家電リサイクル品の処理費199万9千円余、車両処理費3万4千円余、その他の廃棄物処理費54万4千円余である。

問 不法投棄されやすい場所を、投棄されにくくするための改善策について見解を伺う。

答 区は道路や公園のパトロールの強化や、周辺住民、警察署とも連携することで不法投棄されにくい環境整備に努めたい。

問 不法投棄が頻繁に行われている場所に防犯カメラを設置していただきたいかがか。

答 道路や公園の利用者に対するプライバシーへの配慮や、防犯カメラの設置による効果など、今後十分な検証が必要であると考え、他自治体の例も参考とし、より効果的な防止策を検討していく。



大田区議会公明党 田村 英樹

「自殺防止への取り組みについて」

問 区では現在どれほどの自殺者を把握しているのか。

答 区における23年度自殺者数は175名。うち男性119名、女性56名。男性の30代から60代の自殺者数が多くなっている。

問 自殺防止には各所管が連動する横断的な組織や、うつ病、自殺対策に特化した専門の組織が必要と思うが、区の見解を伺う。

答 区民からの相談が、確実に関連の部署につながる総合的なネットワークの構築が重要となる。保健所では、23年度より自殺対策庁内連絡会を開催しており、まず庁内ネットワークの充実を目指す。

問 心拍変動リアルタイム解析プログラムを一般健診や特定健診、人間ドックなどと一緒に活用できれば、うつ病の早期発見・早期治療につながると思うかがか。

答 精神科医療分野で広く活用、検証が重ねられ、有効性が確立するまで待つべきではないかと考える。問 他自治体が行う自殺対策事業を研究し、区も取り組むべきと考えたいかがか。

答 区はパネル展やうつ病の講演会を開催。また職員や民生委員などを対象に年2回のゲートキーパー研修を実施。他自治体の取り組みも研究し、総合的な自殺対策が可能な体制作りの検討を進める。

問 23年度の区内の不法投棄物対応件数を伺う。

答 区内合計で1,052件の対応件数を把握している。

問 23年度決算における、区道などへの不法投棄物処理費用は。

答 道路維持費で、家電リサイクル品の処理費199万9千円余、車両処理費3万4千円余、その他の廃棄物処理費54万4千円余である。

問 不法投棄されやすい場所を、投棄されにくくするための改善策について見解を伺う。

答 区は道路や公園のパトロールの強化や、周辺住民、警察署とも連携することで不法投棄されにくい環境整備に努めたい。

問 不法投棄が頻繁に行われている場所に防犯カメラを設置していただきたいかがか。



自由民主党大田区民連合 深川 幹祐

「区職員や教員の救命講習」

問 教員向けの救命講習会を現在の3月と8月だけではなく数多く開催することで受講機会を確保してほしいかがか。

答 教職員の受講しやすさを考慮して救命講習会の会場及び実施日程の増加を検討し、参加しやすい環境を整える。

問 地域との連携の中で小中学校教員の消防団入団も含め地域の防災活動に協力すべきと考えたい。

答 教員の地域貢献活動には、可能な限り積極的な参加を啓発する。問 区職員の昇任研修時に救命講習の義務付けを行うなど、大変意義のある救命講習会を更に積極的に進めたいかがか。

答 本庁舎の自衛消防隊員救護班に選任された職員並びに希望する職員を対象に救命講習を実施している。今後は昇任時の機会などを捉え、救命講習の受講を検討する。

問 11月の地域防災訓練で初めて水の工法を指導した。内容を精査して、区の多くの自治会・町会における防災訓練でも普及啓発をすべきと考えたいかがか。

答 地域訓練の中での実施を自治会・町会を中心に働き掛け、訓練を通じて水災意識の普及啓発を図る。

問 区民安全・安心メールサービス「子どもが声を掛けられそうに」配信してしまうと、少年補導などの観点で子どもに対して行う声掛けができなくなる。この点をどのように考えるのか。

答 具体的な状況、内容、行動などから総合的に判断し、配信するものとし、区民に通知し、運用する。問 条例違反以上の情報は区全体で共有し、警戒する必要があるが、犯罪のおそれがある程度のレベルに関しては、地域の学校PTAの範囲で共有すべきではないか。

大田区議会公明党 柳瀬 吉助

「公務員人事制度について」

問 国は公務員給与を2年間限定であるものの、平均7.8%下げた。区も区民税増税を区民にお願いしたい以上、同様の措置を行うべき。

答 区は同様の措置を行わず、特別区人事委員会勧告の官民格差分の是正のみを行う改正案を上げたい。問 国や都は公務員の退職手当を、官民格差是正のため、大幅に見直している。区の対応は。

答 検討中である。今後時機を逸することなく提案、実施をしていく。問 国は、国家公務員宿舎の半減や家賃を見直す計画を発表した。区内で民間住宅が供給過剰にある中、区の独身住宅4か所、家族住宅4か所について見直しが必要では。

答 独身用は地方からの優秀な人材確保のため、今後も必要がある。世帯用は、設置目的や需要の動向、民間の状況などから検討していく。

問 入札・契約制度について。問 入札改革で不落時の随意契約を禁止したところ大きな成果があった。不落時の指名入札枠を区外業者にも広げたいかがか。

答 不落時に入札の条件を変えたいという対応に、各事業者が緊張感を持った結果だと推察している。問 価格差が大きくても、区内業者を優先すべきだと考えているのか。

答 区外業者発注で、必ず価格差が生じるかは、過去の入札案件で確認できていない。区の地域要件の設定に関する方針を変えたいという考えはないが、24年度から設置した入札監視委員会、入札参加資格としての地域要件について、審議の対象となるものと考えている。

問 区民税増税を区民にお願いしたい以上、同様の措置を行うべき。

答 区は同様の措置を行わず、特別区人事委員会勧告の官民格差分の是正のみを行う改正案を上げたい。

ホームページのご案内

ホームページで議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご利用ください。

大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

主な掲載内容

- 議員紹介
- 本会議の結果
- 議会中継
- 決議・意見書
- 請願・陳情の結果
- 区議会だより
- 会議日程
- 特別委員会の報告書
- 会議録の検索



自由民主党大田区民連合 岸田 哲治

「区の防災対策」

問 小学校防災活動拠点訓練について、小学生と中学生とは参加の仕方が違うと考える。小学校と中学校の違いによる訓練のあり方を伺う。

答 中学生は、支援する側の立場で各種活動に取り組み。小学生は支援・保護される対象でもあり、引き取り訓練や残留児童の安全確保を基本に学校防災活動拠点の開設・運営訓練を実施する。

問 今後の大田区全小中学校での学校防災活動拠点訓練の中で、これまでの防災訓練をどのように生かしていくのか。

答 24年度から5年で91か所の避難

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

第4回定例会で決まった議案など



◎は全会一致
◆は賛成者多数

区長提出議案

平成24年度補正予算

一般会計(第4次)

20億2,065万1千円増額する。詳細は、下記のとおり。

◎後期高齢者医療特別会計(第1次)

平成23年度追加納付分の葬祭費負担金として、135万円増額する。

◎介護保険特別会計(第3次)

介護給付費準備基金積立金として、226万4千円増額する。

条例の制定

◎大田区みどりの条例

地域力を生かしたみどりのまちづくりに関する基本理念及び施策について必要な事項を定め、区民、事業者及び区の責務を明らかにすることにより、みどり豊かな美しいまちを実現する。

◆大田区空き家の適正管理に関する条例

空き家が放置され、管理不全な状態となることを防止し、適正な管理が行われるよう必要な措置を定める。

◎大田区工場立地法地域準則条例

工場立地法の規定により公表された準則に代えて適用すべき準則を定める。

条例の一部改正

◎大田区手数料条例

都市の低炭素化の促進に関する法律の施行に伴い、低炭素建築物の認定申請に係る手数料を定める。

◆大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例

廃棄物処理手数料を改定する。

◎大田区長等の給料等に関する条例

区長の給料月額を2千円、副区長の給料月額を千円減額する。

◎大田区監査委員の給与等に関する条例

常勤の監査委員の給料月額を千円減額する。

◆職員の給与に関する条例

職員の給料月額の改定(平均0.19%減)及びこれに伴う所要の調整を行う。

◎大田区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例

教育長の給料月額を千円減額する。

◎大田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例

議会議員の議員報酬月額を千円減額する。

契約の変更

◆大田区立仲六郷小学校プール改築その他工事請負契約

契約金額を3億2,760万円から3億4,850万5,500円に、工期を平成25年1月15日から平成25年3月15日に変更する。

指定管理者の指定

◆大田区立平和の森会館

指定の期間…平成25年4月1日から平成30年3月31日、指定管理者の名称…平和の森会館運営グループ

◆大田区立大森東福祉園

指定の期間…平成25年4月1日から平成30年3月31日、指定管理者の名称…社会福祉法人大田幸陽会

特別区道路線の認定

◎特別区道路線の認定

・蒲田二丁目102番26から蒲田二丁目1番68まで

特別区道路線の廃止

◆特別区道路線の一部廃止

・蒲田四丁目54番164の地先から蒲田四丁目54番144の地先まで
・蒲田四丁目54番137の地先から蒲田四丁目54番130の地先まで
・蒲田四丁目54番125の地先から蒲田四丁目54番30の地先まで

公園の廃止

◎大田区立南蒲田二丁目児童公園の廃止

都営南蒲田アパートの建替え工事に伴い、大田区立南蒲田二丁目児童公園を廃止する。
廃止の期日…平成24年12月20日

和解

◎区民住宅使用料等の支払請求に係る訴え提起前の和解

和解の目的の価額…458万5,459円

◎区民住宅使用料等の支払請求に係る訴え提起前の和解

和解の目的の価額…353万5,440円

協議

◆東京二十三区清掃協議会規約の一部を改正する規約

一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可に関する事務を、東京二十三区清掃協議会の担当事務とするため改正する。

報告(議会の承認を求めもの)

◎補正予算に関する専決処分

処分事項…平成24年度大田区一般会計補正予算(第3次)
処分日…平成24年11月19日
衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る所要額として、1億3,218万9千円増額する。

報告(その他)

区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分

(1)自転車放置禁止看板を支える鉄線による物品損傷事故

処分日…平成24年10月17日、賠償金額…1万2千円

(2)庁有車による負傷事故

処分日…平成24年10月27日、賠償金額…37万8,178円

(3)庁有車による負傷事故及び車両損傷事故

処分日…平成24年10月8日、賠償金額…66万9,881円

(4)中学校から飛び出したボールによる負傷事故

処分日…平成24年9月11日、賠償金額…1万2,180円

(5)中学校から飛び出したボールによる建物損傷事故

処分日…平成24年10月29日、賠償金額…27万3千円

意見が異なった議案などに対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対

件名	会派名(所属議員数)								結果
	自由民主党大田区民連合	大田区議会公明党	日本共産党大田区議団	大田区議会民主党	大田・生活者ネットワーク	大田区議会みんなの党	無所属の会	大田区議会緑の党	
平成24年度一般会計補正予算(第4次)	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
大田区空き家の適正管理に関する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
条例の一部改正	大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	○	○	×	○	×	○	×	可決
		職員給与に関する条例	○	○	×	○	○	○	○
契約の変更	大田区立仲六郷小学校プール改築その他工事請負契約	○	○	○	○	×	○	○	可決
指定管理者の指定	大田区立平和の森会館	○	○	×	○	×	○	○	可決
	大田区立大森東福祉園	○	○	×	○	○	○	○	可決
特別区道路線の一部廃止	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
協議	東京二十三区清掃協議会規約の一部を改正する規約	○	○	○	○	×	○	○	同意

平成24年度
一般会計補正予算(第4次)を可決

第4回定例会に提出された平成24年度一般会計補正予算(第4次)は、状況の変化に速やかに対応するための予算として、住宅リフォーム助成の増額など総額20億2,065万1千円を増額するものでした。今回の一般会計補正予算で計上された主な事業は、以下のとおりです。

一般会計補正予算(第4次)の主な事業

総務費

・公共施設整備資金積立基金積立金……………631万2千円積立金(利子積立)の増額

福祉費

・移動支援……………8,343万7千円利用者の増
・子ども手当給付金……………8億113万円法改正に伴う子ども手当給付金・児童手当給付金の増
・生活保護費……………8億3,526万1千円生活保護世帯の増

都市整備費

・住宅リフォーム助成……………1,000万円住宅リフォーム助成の増額

教育費

・就園奨励費補助……………3,320万5千円私立幼稚園就園奨励費の一部補助単価増
・校舎造修等(中学校)……………1,665万円六郷中学校特別支援学級開設に伴う改修工事

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

第4回定例会の請願・陳情の結果

今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたもので今回採決したものの結果は次のとおりです。かつこ内が審査結果です。

総務財政委員会

● 自然エネルギー発電機の増設と整備普及を要請する陳情（継続）

地域・産業委員会

● 所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願（不採択）

保健福祉委員会

● 身体障害を伴わない高次脳機能障害者への支援に関する陳情（採択）
● 骨格提言に基づき障害者総合支援法の抜本的見直しを国へ求める意見書提出に関する陳情（継続）
● 骨格提言に基づき障害者総合支援法の抜本的見直しを国へ求める意見書提出に関する陳情（継続）
● 骨格提言に基づき障害者総合支援法の抜本的見直しを国へ求める意見書提出の陳情（継続）

子ども文教委員会

● 大森スポーツセンターのコインシャワー（室）改修に関する陳情（不採択）
● 雪谷小学校へのエレベーター等のバリアフリー設置に関する陳情（継続）
● 「障害を持つ児童への支援員サポート」に関する陳情（継続）
● 大田区内のすべての認可保育園に看護師を配置していただきたい陳情（不採択）
● すべての子どもがすこやかにそだつ大田区をめざす請願（不採択）

平成25年定例会の予定

第1回定例会

2月21日 本会議（第1日）
25日 議会運営委員会
27日 本会議（第2日）
28日 本会議（第3日）
3月1日 常任委員会
4日 常任委員会
5日 議会運営委員会
6日 特別委員会
8日 議会運営委員会
本会議（第4日）
11日 予算特別委員会
12日 予算特別委員会
13日 予算特別委員会
14日 予算特別委員会
15日 予算特別委員会
18日 予算特別委員会
19日 予算特別委員会
21日 予算特別委員会
25日 予算特別委員会
27日 議会運営委員会
本会議（第5日）
○ 請願・陳情の締め切り
第1次分 2月14日（木）
第2次分 2月26日（火）

第2回定例会

6月12日 本会議（第1日）
13日 本会議（第2日）
14日 常任委員会
17日 常任委員会
18日 議会運営委員会
19日 特別委員会
21日 議会運営委員会
本会議（第3日）
6月5日（水）
○ 請願・陳情の締め切り

第3回定例会

9月18日 本会議（第1日）
19日 本会議（第2日）
20日 常任委員会
24日 常任委員会
25日 議会運営委員会
26日 特別委員会
30日 議会運営委員会
本会議（第3日）
10月1日 委員会
2日 決算特別委員会
3日 決算特別委員会
4日 決算特別委員会
7日 決算特別委員会
8日 決算特別委員会
10日 決算特別委員会
15日 議会運営委員会
本会議（第4日）
○ 請願・陳情の締め切り
第1次分 9月10日（火）
第2次分 9月18日（水）

第4回定例会

11月27日 本会議（第1日）
28日 本会議（第2日）
29日 常任委員会
12月2日 常任委員会
3日 議会運営委員会
4日 特別委員会
6日 議会運営委員会
本会議（第3日）
11月20日（水）
○ 請願・陳情の締め切り



※以上は予定であり、実際の日程は、各定例会開催前の議会運営委員会で決定します。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

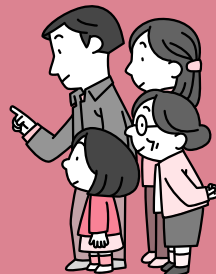


傍聴をお待ちしております

議会活動に触れる身近な方法に傍聴があります。本会議の傍聴は11階の傍聴受付までお越しください。

傍聴席は、椅子席69席、車椅子用スペース3席、親子席4席の計76席となっています。

親子席はガラス張り防音となっており、お子様連れでも安心して傍聴ができます。



傍聴席へのカメラなど撮影機材の持ち込みや傍聴席での撮影・録音などは原則として禁止されています。



請願・陳情はどなたでも出せます

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 請願・陳情の趣旨は、簡潔、明瞭に書き、内容が数種類に及ぶ場合には、それぞれ別の請願・陳情に分けてください。
- 3 請願・陳情の件名は、原則として40字以内にしてください。
- 4 請願・陳情者の押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 5 署名簿がある場合は、請願・陳情の後に付けてください。
- 6 大田区議会は、原則として請願と陳情の審査は同じ扱いです。
- 7 受付は、土、日、休日を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局で行っています。

● 陳情書を提出される方へ

次に該当する陳情は審査されない場合があります。

- ① 著しく個人、団体などをひぼう、中傷し、名誉毀損、信用失墜のおそれがあるもの
- ② 脅迫、恐喝など、公序良俗に反する用語の使用があるもの
- ③ 郵送されたもの
- ④ 住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
- ⑤ 同一期でおおむね一年を経過していない同趣旨のもの
- ⑥ マンション紛争など、私人間で解決すべき内容を含むもの
- ⑦ 既に願意が達成されていると思われるもの
- ⑧ その他議長が審査になじまないと判断したもの

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

年月日

(宛先) 大田区議会議長

請願者（陳情者）
住所
氏名
電話番号
紹介議員（陳情には不要）

○○○○に関する請願（陳情）

請願（陳情）の趣旨
1
2

理由

40字以内

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



常任委員会の構成 ◎：委員長 ○：副委員長

平成24年12月10日現在

総務財政委員会

 ◎大森昭彦 自民	 ○田村英樹 公明
 田中一吉 自民	 岸田哲治 自民
 山崎勝広 民主	 黒川仁 民主
 松原茂登樹 自民	 富田俊一 公明
 福井亮二 共産	 大竹辰治 共産

地域・産業委員会

 ◎岡元由美 公明	 ○伊佐治剛 自民
 塩野目正樹 自民	 清波貞子 公明
 荒木秀樹 無所属	 北澤潤子 ネット
 秋成靖 公明	 馬橋靖世 民主
 柳瀬吉助 みんな	 黒沼良光 共産

保健福祉委員会

 ◎押見隆太 自民	 ○清水菊美 共産
 安藤充 自民	 深川幹祐 自民
 玉川英俊 公明	 森愛 民主
 長野元祐 自民	 松本洋之 公明
 金子悦子 共産	(欠員)

都市・環境委員会

 ◎飯田茂 公明	 ○鈴木隆之 自民
 伊藤和弘 自民	 丸山かよ 公明
 奈須利江 ネット	 沼田秀弘 みんな
 大橋武司 公明	 津田智紀 民主
 菅谷郁恵 共産	 藤原幸雄 共産

こども文教委員会

 ◎松原秀典 自民	 ○岡高志 民主
 水井達興 自民	 高瀬三徳 自民
 広川恵美子 公明	 野呂恵子 緑
 海老澤圭介 自民	 勝亦聡 公明
 佐藤伸 共産	 和田正子 共産

議会運営委員会

◎：委員長 ○：副委員長

委員氏名				
◎田中一吉	○秋成靖	岸田哲治	松原茂登樹	伊藤和弘
富田俊一	岡元由美	山崎勝広	佐藤伸	大竹辰治

特別委員会

◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員氏名			
スポーツ・観光推進特別委員会	◎森愛	○玉川英俊	深川幹祐	岡元由美
	鈴木隆之	海老澤圭介	和田正子	(欠員)
	馬橋靖世	福井亮二		
交通問題対策特別委員会	◎菅谷郁恵	○大橋武司	長野元祐	丸山かよ
	大森昭彦	塩野目正樹	黒沼良光	大竹辰治
	黒川仁	沼田秀弘		
羽田空港対策特別委員会	◎富田俊一	○伊藤和弘	押見隆太	飯田茂
	田中一吉	岸田哲治	野呂恵子	奈須利江
	秋成靖	岡高志	藤原幸雄	
	柳瀬吉助	清水菊美		
防災・安全対策特別委員会	◎松原茂登樹	○津田智紀	伊佐治剛	清波貞子
	松原秀典	安藤充	山崎勝広	荒木秀樹
	広川恵美子	田村英樹	金子悦子	
	北澤潤子	佐藤伸		

- | | | |
|---------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 自民 自由民主党大田区民連合 ☎5744-1480 | 民主 大田区議会民主党 ☎5744-1475 | 無所属 無所属の会 ☎5744-1478 |
| 公明 大田区議会公明党 ☎5744-1488 | ネット 大田・生活者ネットワーク ☎5744-1673 | 緑 大田区議会緑の党 ☎5744-1479 |
| 共産 日本共産党大田区議団 ☎5744-1477 | みんな 大田区議会みんなの党 ☎5744-1476 | |

※大伏秀一議員（日本維新の会）は、公職選挙法の規定に基づき、平成24年12月4日付けで退職しました。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。